

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター大野城



○事業所名	COMPASS発達支援センター大野城		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年10月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認をおこない、法令に沿った事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通所できる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通所できる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	就学や通園に向けた学習習慣の定着を図るため、学習に取り組む時間を確保しております。	着座や集中力の維持に向け、児童の興味関心に合わせた学習課題を工夫しております。	個性をより大切に、質の高い療育支援を目指して取り組んでまいります。
3	長期休暇中などの余暇活動では、季節感のあるイベントや自立に向けた体験活動を取り入れております。	社会性の育成を目的に、公共の場でのマナーや挨拶、他者との関わりを学ぶ機会を設けております。季節に応じた行事を通して、児童が自然な形で人との関わりを持てるよう支援しております。	保護者様や児童の声を大切にしながら、より良い支援の提供に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在は言語聴覚士が一時的に不在となっております。	国の制度のもと、一時的に休暇をいただいております。	令和8年度は充実した体制で言語発達支援をおこなう予定です。また、職員間で言語発達支援に関する共通理解を深めながら、児童一人ひとりの発達段階に合わせた支援をおこなっております。
2	地域の関係機関との情報交換や合同支援の機会が限られており、より多方面からの支援体制の充実が課題となっております。	児童やご家庭の状況に応じて関係機関と連携をおこなっておりますが、日々の支援や事務業務の中で情報共有の時間や場を十分に確保しづらいことが要因として挙げられます。	地域の関係機関や学校、相談支援専門員との連携をより密にし、必要に応じて連携会議や情報共有の場を設けてまいります。定期的な情報交換を通じて、より一貫性のある支援をおこなえる体制づくりに努めてまいります。
3	活動内容によっては支援スペースの確保が難しい場面があり、動線や備品配置の工夫が課題となっております。	支援室の広さは確保されておりますが、活動内容によってはスペースの使い方に工夫が必要な場面があります。	動線やレイアウトの見直しをおこない、安全で快適に過ごせる環境づくりを進めてまいります。また、備品配置や管理方法を工夫し、職員全体で効率的な支援がおこなえるよう取り組んでまいります。

